

第七十回 昭和三十二年一般會計歲出ノ財源ニ特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

昭和七年法律第一號中改正法律案

昭和七年法律第十二號中改正法律案

日本銀行條例中改正法律案

日本銀行參與會法廢止法律案

東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案

委員氏名

委員長 候爵小村 捷治君

副委員長 堀切善次郎君

子爵綾小路 護君

男爵今園 國貞君

男爵大森 佳一君

加藤政之助君

仲田傳之駁君

宇野 勇作君

昭和十二年三月二十五日(木曜日)午後三時二十四分開會

○委員長(候爵小村捷治君) 是ヨリ委員會ヲ開キマス、先ヅ當局ノ御説明ヲ煩シタイト存ジマスガ、御異議アリマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(候爵小村捷治君) ソレデハドウゾ

○國務大臣(結城豊太郎君) 當委員會ニ付託ニ相成ッテ居リマスル七案ノ中、先ヅ昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲メ、公債發行ニ關スル法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通り、昭和十二年度一般會計ニ於キマシテ、既ニ成立シテ居リマスル公債法ニ依リ發行スル公債金額、竝ニ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲メ發行スル公債金額ノ外、歳入ノ不足ヲ補填スル爲メ四億八千七百五十萬圓ヲ別ニ起債スル權能ヲ得ル必要ガアルノデアリマス、即チ昭和十二年度一般會計ノ歲出總額二十八億四千三百九十餘萬圓ニ對シ、普通歳入二十億四千三百十餘萬圓ヲ充當致シマシテ、尙不足スル七億七千八百八十餘萬圓ハ公債財源ニ依ル必要ガアルノデアリマスルガ、此ノ中既ニ

成立シマシタル公債法ニ依リ、起債シ得マスル震災善後公債七百三十五萬餘圓、及ビ道路公債千五百九十九萬餘圓、竝ニ別途昭和七年法律第一號中改正法律案ニ依リ新ニ起債シ得ルコトナリマスル、滿洲事件公債二億六千五百四十六萬餘圓等ヲ差引キマシテ、四億八千七百四十萬餘圓ハ別ニ之ヲ起債スルノ必要ガアルノデアリマス、尙昭和十二年度ノ歳出ニ於キマシテモ、其ノ中若干ノ金額ハ例年ノ如ク翌年度ニ繰越サレルモノガアラウト存ゼラレルノデアリマスルガ、其ノ繰越額ノ財源ハ必ズシモ十二年度内ニ起債スルコトヲ必要ト致シマセヌ爲メ、翌年度ニ於テ發行シ得ルコトト爲スヲ適當ト認メマシテ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、第二ニ昭和七年法律第一號中改正法律案提出ノ理由ハ、是亦本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通り、滿洲事件ニ關スル經費ニ關シマシテハ、第六十一議會、第六十二議會、第六十四議會、第六十五議會、第六十七議會、及ビ第六十九議會ノ協賛ヲ經、昭和十一年度迄ノ當該經費ノ財源トシテ、總額九億九千四百五十萬圓ヲ起債シ得ルコトト相成ッテ居リマスルガ、事件ノ延

長ニ伴ヒマシテ、昭和十二年度ニ於テモ滿洲事件費トシテ一般會計ニ於テ二億八千五百四十萬圓、關東局特別會計ニ於テ二百三十四萬餘圓ヲ必要トスルノデアリマス、右ノ中特別會計ノ外ハ全部普通財源ヲ以テ支辨致シマスルガ、一般會計ノ分ニ付キマシテハ、此ノ中ヨリ滿洲國國防費分擔金受入等合計千九百五十一萬餘圓ヲ差引キマシタル二億六千五百八十九萬餘圓ヲ從來ノ如ク公債財源ニ依ルコトト致シマシタル爲メ、現行ノ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲メ公債發行ニ關スル法律ニ依ル發行限度ヲ二億六千五百九十萬圓タケ増加スルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、第三ニ昭和七年法律第十二號中改正法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通り昭和六年來ノ滿洲事變ノ影響ニ依リマシテ、事業ノ經營ガ甚シク困難トナリ、又ハ不能ニ陥リマシタル支那在留邦人ニ對シ、事業復興資金トシテ貸付クル爲ニ造幣局資金ヨリ拂出シマシタル約五萬貫ノ銀地金ハ、其ノ拂出ノ日ヨリ五箇年以内ニ一般會計ノ負擔ニ於テ補填スルコトト相成ッテ居ルノデ

アリマスルガ、一般會計ニ於キマシテハ歲入補填ノ公債ヲ發行致シテ居ルヤウナ次第デアリマスノデ、此ノ五箇年以内トアルヲ、貸付金ノ償還期ニナリマスル昭和二十二年度末迄延期シ得ルナウニ改メヨウト云フノガ本改正法律案ノ趣旨デアリマス、次ニ日本銀行條例中改正法律案及日本銀行參與會法廢止法律案ニ付テ御説明ヲ申上ゲマス、先ヅ日本銀行條例中改正法律案ノ要點ハ日本銀行ニ新タニ參與理事ヲ置クコト竝ニ理事及監事ハ大藏大臣ノ許可ヲ受クル時ハ他ノ銀行會社等ノ役員ヲ兼ヌルコトヲ得ルコトト致シマシタニ點デアリマス、先ヅ參與理事ノ設置ニ付テ申シマスガ、日本銀行ノ理事ハ現行制度ニ於テハ總裁及副總裁ト共ニ事務ヲ總理シテ居ルノデアリマスルガ、同行ノ業務ハ頗ル煩雜多岐ニ互ツテ居リマスノデ、其ノ運營ニ付テハ廣ク財界ニ於ケル練達堪能ノ士ノ意見ヲ徵シ、同行ノ機能ヲ一層發揚セシムルコトガ緊要ト認メラレマスルノデ、新タニ參與理事ヲ置クコトト致シマシタ、參與理事ハ其ノ候補者ヲ株主總會ニ於テ選舉致シマシテ、大藏大臣ガ任命スルノデアリマシテ、其ノ任期ハ二箇年デアリマス、又參與理事ハ金融政策ノ決定等重要ナル業務ニ付キ參與致シマスノデ、

任期中新タニ他ノ銀行會社等ノ業務ニ從事セムトスル場合ハ大藏大臣ノ許可ヲ要スルコトト致シタノデアリマス、ソレカラ理事及監事ノ兼職ノコトデアリマスルガ、現行法ニ依レバ日本銀行ノ理事及監事ハ任期中他銀行又ハ會社等ノ役員ヲ兼ヌルコトハ絕對ニ許サレナイコトニナツテ居ルノデアリマス、併シソレデハ實際上ニ於テ不便デアリ、同行ト財界トノ連繫ヲ緊密ナラシムル爲ニハ他ノ特別銀行等ノ重役ヲ兼ヌルヲ適當トスル場合モアリマスノデ、大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ之ヲ爲シ得ルコトト致シマシタ、ソレカラ日本銀行參與會ハ御承知ノ通り日本銀行ト財界トノ連繫ヲ緊密ナラシメン爲メ昭和七年法律第十一號ニ依リ設ケラレタモノデアリマスルガ、前述ノ如ク日本銀行條例ニ改正ヲ加ヘマシテ、參與理事ヲ置クコトト致シマシタ以上ハ、參與會ヲ存置セシメ置クノ必要モアリマセヌノデ、此ノ際之ヲ廢止致スコトヲ適當ト認メマシテ、日本銀行參與會法廢止法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案提出ノ理由ハ本會議ニ於テ申上ゲマシタ通り、農業教育ノ普及及徹底ヲ圖リマ

スル爲ニ現在ノ東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ヲ昭和十二年度カラ獨立セシメマシテ、東京農學教育專門學校ヲ創設致シマスル關係上、昭和十一年度末現在ノ東京帝國大學資金ノ中右ノ農業教員養成所ノ用ニ供シマスルモノ、昭和十一年度東京帝國大學ノ歲入殘餘ニシテ、同帝國大學農學部附屬農業教員養成所ニ關シ生ジマシタルモノハ之ヲ學校及圖書館資金ニ編入スル等ノ規定ヲ設クル必要ガアルノデアリマス、之ガ爲メ帝國大學特別會計ト學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案提出ノ理由ハ帝國ノ滿洲ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至委讓ニ伴ヒマシテ、滿洲ニ在勤シテ居リマスル所ノ外務省及關東局關係ノ職員ノ中デ滿洲國ニ引繼ガル、者ガ六千七百人バカリアリマスルガ、是等ノ者ハ帝國ノ官吏其ノ他ノ職員トシテ忠實ニ勤務シテ參ツクノデアリマスルカラ、其ノ年來ノ勤勞ニ酬ユル爲メ之ニ適當ノ待遇ヲ與フルコトハ此ノ際必要ノコトデアアルト考ヘ

マシテ、ソレノ特別ノ資金又ハ手當ヲ支給スルコトニ計畫致シマシタ次第デアリマス、而シテ此ノ資金又ハ手當ハ公債證書ヲ以テ交付スルコトト致シマス爲メ公債ノ發行ヲ要シマスルノデ、本法律案ヲ提出シタノデアリマス、以上御説明申上ゲマシタ諸案ニ付キマシテハ、何卒御審議ノ上御贊成アラムコトヲ希望スル次第デアリマス
○委員長(侯爵小村捷治君) 皆様ニ御諮リ致シマスガ、大藏大臣ハ衆議院豫算總會ニ列セラレル爲メ御急ギノ模様デアリマスルガ、尙十分カ二十分ノ餘裕ヲ此ノ本委員會ニ與ヘラレルト云フコトトデゴザイマスルカラ、只今ノ七案全部一括シテノ御説明ニ對シマシテ、總括的ナ御質疑ガゴザイマシタラバ願ヒマス
○松浦鎮次郎君 是等ノ諸案ハ大抵趣旨ノ簡單ナモノデアリマスカラ、別ニ御質問ヲスル必要モナイカノヤウウニモ思ハレマスルガ、此日本銀行條例改正法律案、日本銀行參與會法廢止法律案、是ハ關聯シタ案デアルト思ヒマスルガ、從來此ノ日本銀行ニ參與ト云フモノガ是ハ理事デナクシテアリマシタノヲ、今回制度ヲ御變ヘニナリマシテ、參與理事トセラレテ、矢張り理事ノ中ニ列スルヤウナコトニ御改正ニナラウト云

フノデアリマスルガ、是ハ此ノ銀行ノ事業
又ハ産業等ノ事業ニ付テ特別ノ學識經驗ア
ル人ヲマア諮問機關トシテ設ケラレタト云フ
ノガ從來ノ參與制ノ精神デアアルノデアリマ
スルガ、チヨット考ヘマス、此ノ理事ト云フ
モノデナクシテ矢張り從來ノ參與ト云フ諮
問機關デ置カレタ方ガ宜イヤウニモ考ヘラ
レマスルガ、是ハ從來ノ參與ヲ廢シテ、參與
理事トスル方ガ其ノ機能ヲ發揮セシムル上
ニ於テ宜シト云フコトニ付テノモウ少シ
詳シイ御説明ヲ承ルコトガ出來マスレバ結
構ト思ヒマス

○國務大臣(結城豊太郎君) 參與會ハ高橋

大藏大臣ノ時分ニ設ケマシタモノデアリマ
スルガ、諮問機關デアリマス爲ニ、其ノ人
ニモ依ルコトデアリマスルガ、其ノ後毎
月寄ッテハ居リマスルガ、ドウモソレ程ノ效
果ヲ發揮シナイ、日本銀行カラ金融市場ノ
狀況ヤナンカラ聽キマシテ、サウシテ意見
ヲ述ベルト云ツタ所デ、眞劍ナ意見デナシ
ニ、矢張り思ヒ付ノ意見ヲ述ベテ行ク、サ
ウシテ午餐ヲ共ニシテ歸ルト云フヤウナコ
トデアリマス、之ハマア總裁或ハ參與モ之
ニ依ッテ其ノ邊ノ活用ガ出來ルコトデアラ
ウト思フノデアリマスルガ、英蘭銀行ヲ初
メ、諸國ノ中央銀行ナドニ於キマシテハ、

寧ロ此ノ普通ノ理事ト云フ者ヲ多クシマシ

テ、其ノ中ニハ御承知ノ通り各種ノ職業ノ
人ヲ網羅致シマシテ、英蘭銀行ナドハ二十
何人ニナツテ居ルト思ヒマス、中ニハ實業家
ナドガ多イヤウデアリマスルガ、サウシテ
寄ッテ可ナリ眞劍ニ英蘭銀行ノ業務ノ執行
ニ付テ、又金融市場ノ統制其ノ他ニ付テ隔
意ノナイ意見ヲ交換シテ居ル實情デアアルノ
デアリマス、ソレデ日本銀行デモ普通ノ理
事ハマア主ニ行員カラ上ツテ拔擢サレタ者デ
アリマスルガ、之ハ只今正副總裁ノ外ニ、
四人理事ガアリ、皆練達ノ士デハアリマ
スルガ、何ニセヨ、日本銀行ダケニ育ッテ來
タ連中デアリマスカラ、ドウモ世間ノ空
氣ニ觸レルコトガ少イ、其處ニ此ノ外部
カラ理事トシテ入レルト云フコトニナツテ、日
常ノ業務ニ又一々口ヲ出スト云フコトニナル
ト、之モ少シ煩シイヤウナ氣モスルヤウニ思
ハレル、又外部カラ見エル方ハ、大概何カ職
業ヲ有ッテ居ラレル方デアリマスカラ、日本
銀行ノ理事ノヤウニ專心其ノ仕事ニ當ルト
云フコトモムツカシイ、ソコデ其ノ邊ノ考
ヲ折衷ト申シマスカ、研究致シマシテ、サウ
シテ外部カラ入ル人ヲ參與理事トシテ重役
會、一週ニ一回カニ回開キマスガ、其ノ際ニ
出テ貰フ、平生毎日ノ仕事ハ其ノ理事方ニ依ッ

テ之ヲ執リ行ッテ行ク、サウシテ其ノ參與理
事ナドモ日本銀行ノ業務ニ付テ或程度ノ責
任ヲ持ッテ貰フト云フコトニナレバ、自然此
ノ理事會ト云フモノノ空氣モ緊張シテ參リ
マスシ、今迄ノヤウナ茶話ト云フヤウナ程
度デナシニ眞劍ニ考ヘテ來ルコトニナルト
思フ、斯ウ云フヤウナ積リデ、無論ソレ等
ノ人選ニ付キマシテハ種々ナル點カラ考究
致サナクチャナラヌノデ、良イ人ヲ見付ケ
ルコトハ大切デアリマスガ、今迄ノヤウナ
參與會ト云フコトヨリハ、一層其ノ邊ノ強
化ニナルグラウ、斯ウ云フ趣意カラ此ノ法
律案ガ出來タノデアリマス、ソレニ御承知
ノ通り此ノ日本ノ金融界ト致シマシテノ缺
點ト申シマスカ、大切ナコトハ、各種ノ金
融機關其ノ他ノ機關ノ連絡統制ト云フヤウ
ナコトガ最モ必要ナコトデアリマス、此ノ
參與理事ノ中ニ、矢張り特殊銀行ノ總裁デ
アリマスカ、首腦者ヲ一部分入レマシ
テ、或ハ全ク金融機關ヲ離レタ實業界ノ方
カラ練達堪能ノ士ニ入ッテ貰フト云フコト
デ、各種ノ方面ノ知識ヲ集メテ、サウシテ
行クト同時ニ各方面ノ連絡協調ヲ圖ッテ行
ク、斯ウ云フ風ナコトガ主デアリマシテ、
單ニ才座ナリノ話合ヲスルヨリハ、眞劍ニ業
務ニ參與シテ貰ツタ方ガ宜カラウト云フヤ

ウナコトカラ、參與理事ト云フ制度ヲ設
ケ、參與會ト云フモノヲ廢止スルコトニナ
リマシタ次第デアリマス

○松浦鎮次郎君 只今ノ御説明デ御趣旨ハ

一應了解致シマシタガ、從來ノ參與制デア
ルト兎角餘リ度々寄ラレルコトモナシ、
寄ラレテモ茶話的ノ話デ十分實ノ入ツタコ
トガ出來ナイデ、效果ヲ擧ゲル上ニ遺憾ノ
點ガアル、今回ハ是ガ理事トシテ矢張り責
任ヲ分擔スルコト云フ地位ニ立ツコトニナレ
バ、其ノ邊ノコトモ今迄ヨリハ締ッテ效果ヲ
擧ゲルコトガ出來ルト云フ位ノコトハ、サ
ウ云フ點モアラウト思ヒマスガ、併シ何レ
參與理事ト致サレマシテモ、他ニ劇務ヲ持ッ
タ人々ガ多イノデアリマセウカラ、サウ度々
寄ラレルコトモアリマスマイシ、從來ノ參
與デアツテモ、是ハヤリ方デ茶話的ニナルト
云フヤウナ習慣ヲ付ケレバサウナリ易イノ
デアリマスカレドモ、之ヲ本當ニ機能ヲ發
揮セシメル積リデヤレバ、參與制デアツテモ
締ッテイケナイコトハナイカト思ハレマス
シ、參與ト云フコトデアレバ、諮詢機關トシ
テ稍、中ノ行員デアルト云フコトヨリモ獨立
性ヲ保ツト云フヤウナ意味ニ於テ忌憚ナキ
意見ヲ述ベルト云フヤウナコトニ付テハ、
中ノ人ヨリハ却テ外ニ居ッテ諮詢ニ應ズル

ト云フ風方或意味ニ於テハ宜イノヂヤナカラウカト思ハレル點モアルヤウデスガ、是ハ色々利害ヲ御考ニナツタコトデアラウト思ヒマスケレドモ、矢張り斯ウ云フ風ニ中ニ入ツテ責任ヲ分擔セシメル方ガドウシテモ效果ヲ擧ゲル上ニ宜イト斯ウ云フ御考ナノデアリマスカ

○國務大臣(結城豊太郎君) 中ニ入りマシテモ、是ハ使用人トハ無論違ヒマスシ、ソレカラ行員カラ上リマシタ理事トモ違ヒマシテ、何モ正副總裁ノ言フコトニ從ハナケレバナラスト云フヤウナ氣持デハ、無論職制ノ上カラ獨立シテ……何モソシナコトニ屈服スル必要ハナイノデアリマスガ、サウ云フ氣持ヲ持つ必要ガナイノデアリマシテ、從ツテ此ノ參與理事モ株主總會ノ選舉ニ依ツテ選バ、ト云フヤウナコトヲ必要ト致シマスヤウナ次第デアリマスルカラ、職制ノ上カラ申シマスト正副總裁ノヤリ方ニ付テモ是ハドウモ私ハ贊成出來ヌトカ、甚ダ不服デアルトカ云フヤウナコトハ言ヒ得ル地位ニアリマス、參與會デアリマスト諮問機關デアリマスカラ意見ヲ述ベマシテモ、ハアサウデスカト言ツテ聽キツ放シニサレル虞ガアルノデアリマスルガ、參與理事ニナルト其ノ邊ハ私ハ強イト思フノデアリ

マス、ソシナコトデ他ニ皆劇務ヲ持ツテ居レル方デアリマスルカラ一週間ニ一遍ヤソコイラシカ寄ルコトハ出來ナイダラウト思フノデアリマスガ、其ノ間ノ日本銀行ノ業務ヲ聽キマシテ、サウシテソレノ是非ニ對シテ意見ヲ述ベ、又今後ノ施設ニ付テ意見ヲ述ベルト云フヤウナコトヲ致シマスコトハ、兎角此ノ日本銀行ハ世間カラ遠ザカルヤウナコトニ考ヘラレマスルコトヲ避ケル意味ニ於キマシテモ結構デハナイカト、斯ウ考ヘテ居リマス

○松浦續次郎君 此ノ質問ハモウ是デ宜シウゴザイマスガ、此ノ東京農業教育専門學校創設ニ伴フ云々ト云フノデアリマス、是ハモウ當然ノコトデ別ニ問題ハアリマセヌガ、私ガ伺ヒタイノハ此ノ案其ノモノト云フヨリハ、是ハ現在ノ農業教員養成所ト云フモノガ農業専門學校ト云フモノニ代ルノガアリマシテ、農業教員養成所ハ三月末日ヲ以テ廢止サレ、新タニ農業専門學校ガ出來ル譯デアリマスガ、是ハモウ三月末日、四月一日トモ抜合セニ直グ一方ガ死ニ、一方ガ生レルト云フ關係ニナルノデスガ、校長ナリ職員ナリ其ノ他ノ準備ト云フモノハ此ノ四月一日ヲ以テ新タニ農業専門學校ガ出來ルト云フコトニ付テノ準備萬端ノコト

ハ今モウ御用意ニナツテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(服部續君) 只今御尋ノ點ニ付キマシテ、此ノ學校ノ創立ノ準備ノコトハ只今著々進行中デゴザイマシテ、官制ノ公布、職員ノ任命其ノ他三月一パイニ全部完了致ス豫定デゴザイマス

○加藤政之助君 此ノ機會ニ大藏大臣ノ御意見ヲ綜合的ニ伺ヒタイト思フコトガアルノデスガ、大藏大臣ハ他ニ御忙シイ御用事ガアルヤウニ伺ヒマスガ、三十分位ハ宜シウゴザイマスガ、宜シケレバ御尋ネ致シマス

○王奎(侯爵小村捷治君) 只今大藏當局ノ御話ニ依リマス、マダ當分コナラニ御出ニナルレサウデゴザイマスカラドウゾ御質問ヲ願ヒマス

○加藤政之助君 此ノ御提案ハ公債募集ニ關係ノアル御提案デアリマスガ、私ハ赤字公債ノ募集ニ付テハモウ多年心配ヲ致シ來ツタ者デアリマス、ソレニ付テ一ツ私ノミナラズ世間ガ安心ノ出來ルヤウナ一ツ御答辯ヲ伺フコトガ出來レバ甚ダ仕合デアルト思フノデアリマス、私ガ心配致シマシタノハ高橋藏相ノ時代ニ先ヅ七八億ノ赤字公債ヲズツト募集シテ來タ、其ノ結果十年ナラズシ

テ六十億ノ公債ガ百億ニナルダラウ、斯ウ云フコトデアリマスカラ、此ノナリデ行ツタナラバ前途ドレダケノ赤字公債ヲ募集シナケレバナラスカト云フコトヲ甚ダ恐レルノデアリマスガ、ソレデ好イ加減ノ時代ニ一ツ借金デ財政ヲヤルト云フバカリデナク、増税ヲシテ收支ノ均衡ヲ維持スルト云フ方針ヲ執ツタラドウカト云フコトデ高橋藏相ト屢、ヤリ合ツタコトガアリマスガ、高橋君ハ寧ろ増税ハ一朝事ノ有ツタ時、有事ノ日ノ用意ニ取ツテ置カナケレバナラス、ソレデ先ヅ赤字公債デ間ニ合ハシテ行ク積リダ、斯ウ云フノデアアル、私トハ其ノ點ニナルト絶對ニ意見ガ違ツテ居ル、私ハ寧ろ不斷増税ヲシテモ收支ノ均衡ヲ保ツト云フ方針デ財政ヲヤツテ行ク、ソレデ一朝有事ノ日ニハ公債ヲ募ル、斯ウ云フコトガ當然デアアル、又可能デアアル、「ヨーロッパ」ノ戰爭ヲシタ財政史ヲ見マシテモ稅ヲ以テ戰爭ヲシタト云フコトハ殆ト見エナイ、大抵ガ公債ニ依ツテヤツテ居ル、僅カニ何デモ「イギリス」ガ此ノ前「ヨーロッパ」戰爭ノ時ニ増税ヲシタト私ハ記憶シテ居リマス、サウ云フ譯デアリマスカラ收支ノ均衡ヲ保ツト云フコトガ財政上重要ナ事件デアルトスルナラバ、ドウシテモ相當ノ増税ハシナクチャナラス、斯ウ云フ考

ヲ私ハ持ッテ居ル、所ガ高橋藏相ハ右ノ意見
デ遂ニ増税ニ手ヲ觸レズニ來タ、所ガ前ノ
内閣ニナッテ馬場君ガ此處ニ氣付カレテ増
稅計畫ヲ立テラレタ、斯ウ云フコトデアリ
マスガ、併シ今日ノ情勢、財政ノ情勢カラ
言ヘバ、アレダケノ増稅ヲシタダケデハ、
ソレデ前途收支ノ均衡ハ何時保テルカ、餘
程見通シヲ付ケルコトハ困難デアラウト私
ハ推察シテ居ッタノデアリマスガ、然ルニ今
度ハ内閣ガ御送リニナリマシテカラ日モ淺
イノデスカラ、マダ其處迄御檢討ガ御届キ
ニナラヌト云フコトハ當然ダト思ヒマス、
無理ナイコトトハ思ヒマセスガ、唯一年限り
アノ中ノ増稅案ノ一部分ヲ應用シテ、サウシ
テ更ニ檢討ヲナサルト云フコトノ御方針デ
アルヤウニ伺ヒマシタ、ソレモ致方ナイデ
アラウト思ヒマスガ、ドウシテモ前途財政
ノ收支ノ均衡ヲ保ツコトガ目標デアルトス
レバ、此ノ際ニドレダケノ増稅ヲスル、ソ
レデ財政上ノ「バランス」ヲ保テルカドウカ
ト云フコトハ御考ニナラナケレバナラヌコ
トデアラウト思フ、今ノ軍事上ノ關係モア
リマス、非常時關係モアリマスカラ、國費ガ
意外ニ膨脹シツ、アルノデアリマスガ、ソ
レヲ支辨スル爲ニ前途幾年カノ見通シヲ付
ケテ赤字公債デ賄ッテ行クト云フコトハ止

ムラ得ヌト私ハ思ヒマスガ、ソレガ無限ニ
行ッテハ日本ノ財政ト云フモノガ危機ニ陥
ルノデアリマスカラ、今ハ假令多少苦シク
テモ、前途ハ財政ノ危機ニ、陥ルコトノナ
イヤウニ、此際完全ナル財政計畫ヲ御樹テ
ニナルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマ
ス、ソレニハ當局者ガ前途收支ノ「バラ
ン」ヲ保ツト云フコトガ矢張り重要事項ト
シテ御認メニナッテ、ソレヲ目標トシテ進
行ナサルヤウニ、從ッテ増稅ノ程度モソレヲ目
的ニ決メナケレバナラヌモノデアラウト思
ヒマスガ、次ノ年度ニ於ケル財政計畫ノ今
御持チニナッテ居ルモノハドシナモノデア
リマスガ、其ノ大體ダケデモ伺フコトガ出
來タラ仕合セト思ヒマス

○國務大臣(結城豊太郎君) 寔ニ御尤ナ御

心配デアリマス、私モ此ノ收支ノ均衡ヲ得
ルヤウニ努メタイ、所謂健全財政ト云フコ
トニ出來ルダケ行キタイト、斯ウ考ヘテ居
リマス、斯様ニ金ノ要ル場合ニ増稅ニ依ル
ベキカ、赤字公債ニ依ルベキカト云フコト
ニ付テハ、私ハ寧ロ加藤サンノ方ニ左袒ラ
スル方デアリマシテ、是ハ一朝事ガ有ッタ
場合ニハ公債ニ依ラナケレバナリマセヌ
ガ、平常ハモウ出來ルダケ普通ノ歳入デ行
クベキデアラウト思フノデアリマス、唯高

橋サントシテハ、ドウモ日本ノヤウナ幼稚
ナ產業界ニ於テ、今増稅ヲシテ芽ヲ摘ムヤ
ウナコトヲヤッチヤイカスカラ、モウ少シ育
テヤウト、斯ウ云フ風ナ氣持デアッタラウト
私ハ想像致シマス、是モ決シテ御無理ノナ
イ考デアッタコトト思ヒマス、今回御審議ヲ
願ヒマスヤウナ豫算案ヲ御覽ニナリマス、
ドウモ國防費ト云フモノハ非常ニ巨額ヲ占
メテ居リマス、是ハ陸海軍ノ當局者、其ノ
他カラモ御聽キニナリマシタラウト思ヒマ
スガ、只今ノ國際情勢カラ申シマス、已
ムラ得ヌ支出デアルト私モ思ヒマス、私野
ニ在ッタ時分ニ、如何ニモドウモ龐大ナ計畫
デアルヤウニ考ヘテ居リマシタガ、段々ニ
認識ヲ深メテ、其ノ邊ノ話ニ理解ヲ進メテ
參リマス、ドウモ國防ノ充實ト云フコト
ニ暫クノ間ハ重點ヲ置イテ、財政計畫ヲ樹
テネバナラヌト云フヤウナコトハモウ餘儀
ナイ事情ニアルヤウニ思ハレルノデアリマ
ス、ソレヲ緩和スルノ途ハ偏ニ是ハ隣國其
ノ他トノ外交交渉ニ依ッテ圓滿ニ國際關係
ガ行キマヌヤウニ骨ヲ折ッテ行クヨリ外是
ハナカラウト思フノデアリマス、丁度其ノ時
ニ「イギリス」デアリマス、アメリカ「デ
デアリマス、種々ナ事情カラ起ッテ來タノ
デデアラウト思フノデアリマスガ、海軍ニ致
シマシテモ、陸軍ニ致シマシテモ、皆軍擴ヲ
ヤルト云フヤウナ時代ニナリマシテ、ドウモ
其ノ邊ノ情勢カラ申シマシテモ、又現在ノ
日本ノ國際情勢カラ申シマシテモ、當分ノ
間ハ國防ノ充實ト云フコトニ重點ヲ置カ
ケレバナラヌト云フコトハドウモ致方ナイ
ト思フノデアリマスガ、ソレデ前内閣ノ時
分ニハソコニ重點ヲ置キマシテ増稅案ヲ作
リ、又赤字公債モ十億程度ノモノヲ發行ス
ルヨリ外ガナイト云フコトデ財政計畫ヲ樹
テマシタノデアリマスガ、併シソレガ發表
サレマス、經濟界ニハ相當ノ「ショック」ヲ
與ヘマシテ、畢竟是ハ日本ノ生産力カラ考
ヘマシテ、餘リニ急激ナ増加デアッタラウト
思フノデアリマス、ソレデ此ノ邊ノ關係カ
ラ思惑ノ輸入ヤ何カガ一時ハ多クナリマシ
テ、從ッテ國際貸借ナドモ一時ハ餘程悪化ス
ル情勢ヲ來シマシタ、ソシテコトカラ大層
心配致シマシタノデスガ、幸ニ其ノ後ノ情
勢ハ落付イテ參リマシテ、經濟界ニ不安ヲ
來スヤウナコトハ只今ノ所ハ無クナッタノ
デアリマスガ、併シナガラアレダケノ國費
ヲ支辨致シマスル上ニ於テ、又來年度ニ於
テ必ズシモ歳出ガ急ニ減ルト云フヤウナコ
トハドウモ考ヘラレマセヌ、ソレデ已ムヲ
得ズ甚ダ急激ナル増加デアアリマスガ、

増稅案ヲ作りマシテ、併シ是モ私ハ本當ニ練ツタ又理窟ノ通ツタ増稅案ト云フ風ニハ考ヘラレマセヌノデ、モット檢討スル必要ガアル、斯ウ存ジマシタノデ取敢ズ臨時増徴ト云フコトニシテ、一箇年ダケノ増徴ニマア致シマシタヤウナ次第デアリマスガ、來年迄ニハモット根本的ニ中央地方ヲ通ジテノ稅制ノ改革、稅制案ヲ立テマシテ、サウシテ負擔ノ均衡ヲ圖リタイト考ヘテ居ル次第デアリマスガ、ドウモ今回ニ致シマシテモ二億七千萬圓ト云フ大キナ増加デアリマスカラ、國民ニ對シテソレダケノ負擔ヲシテ費フト云フコトハ非常ニ斯ウ氣ノ毒ノヤウナ氣ガ致シマスガ、併シ是モ國民トシテハ只今ノ國際情勢ニ理解ヲ持ツテ費フトコトニナルト云フヨリ致シ方ナイト云フ風ニ考ヘテ、マア負擔力ノ許ス程度ニ於テ租稅ヲ出シテ與レルグラウト思フノデアリマスガ、ソレニ致シマシテモ尙十億ニ近イ赤字公債ヲ發行シナケレバナラスト云フ情勢デアリマス、是ハ私ハ多少樂觀ニ過ギルト云フ非難ヲサレタノデアリマスルガ、經濟界ノ情勢ヲ好クシテ行キマスコトニナリマス、サウ其ノ年々或程度ノ赤字公債ト云フモノヲ發行スルコトハムヅカシクナイト思フノデアリマス、併シ經濟界ノ狀況ガ悪クナッテ

來マス、モウ二億三億ノ公債モ消化ガ出來ナクナッテ、日本銀行ノ背負込ニナリマス、ソレダケ通貨ノ膨脹ヲ來スト云フコトデ、色々ナ惡影響ヲ齎スコトニナリマスカラ、成ルベクナラバ公債ノ發行額ヲ少クシタイノデアリマスガ、ソレガ許シマセヌケレバ、矢張りサウ云フ風ニ經濟界ヲ育テ、行クヨリ外ナカラウト思ヒマス、ソレデマア一面ニハ矢張り此ノ國ノ財政ニ對スル信用ト云フコトモ根本デアリマスルカラ、其ノ外ニハ國民ノ貯蓄ヲ獎勵シテ、年々ノ貯蓄力ト云フモノヲ増スコトガ大切ナコトグラウト思フト同時ニ、國防ノ充實ニ付キマシテ、自然ノ生産ノ擴充、軍需品其ノ他ノ註文ガ民間ニ出ルコトガ多イノデアリマスルカラ、ソレ等ノ散布サレマシタ國庫金ヲ工合好ク吸上ゲルヤウナ工夫ヲシナケレバナルマイト思フノデアリマス、是モ當分ノ間ハ矢張り生産設備ノ擴張デアリマス、色々自分ノ方ノ仕事ニ使フ分量ガ多イグラウト思ヒマスガ、ソレガ外部ニ散布サレルコトニナルト自然ニ銀行預金ニナッテ參リマス、或ハ信託、保險ト云フヤウナ方面カラ又貯蓄力ガ増加致シマシテ、ソコデ赤字公債ヲ消化シ得ルヤウナ力ヲ養ハレテ參リマス、同時ニ今迄ノヤウニ、先刻モ松村サンニ御

答ヘ致シマシタヤウナ工合ニ、日本ノ金融機關ガ餘リニ連絡協調ト云フコトガ缺ケテ居リマシテ、ドチラカト申シマス、テンデンバラバラニナッテ居リマシタノガ、ソコデ連絡協調ガ取レマスルト、金融機關デアル銀行、信託、貯蓄銀行ト云フモノトカ、保險會社デアリマス、其ノ他ノ投機關ト云フヤウナモノナドガ、一ツノ氣持ノ下ニ動イテ參リマスルコトニナルト、單ニ算盤ダケニ依ラズニ、現在ノ日本ノ情勢トシテ、自分達モ公ノ機關ヲ經營シテ居ル者トシテ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ奉公ラシナケレバナラスト云フヤウナ氣持ヲ持ッテ與レマス、多少ハ算盤ニ合ハヌヤウナ場合ニ致シマシテモ、公債ヲ持タウト云フヤウナ氣持ニモナリマセウシ、又持チマシタ公債モ單ニ自分ノ利害ダケ、或ハ將來ヲ悲觀シテ賣却ヲスルカ云フヤウナコトモ避ケ得ルヤウニナラウト思フノデアリマシテ、マアサウスルト公債ノ市價ヲ崩スヤウナコトモ自然ナクナッテ參リマス、公債ノ市價方下ラズニ、發行價格ヲ維持シテ居ル、或ハ發行價格以上ニ行ッテ居リマス場合ニハ、公債ノ消化ニハサウ不便ナコトハナカラウト思フノデアリマシテ、一番恐シイノハ公債ノ市價ガ段々下ッテ來ルコトデアリマス、其ノ邊ニ

付テハ日本銀行ガ中心ニナッテ、各種ノ機關ノ統制、連絡ガ取レバ、サウシテ各方面ノ首腦者ガ皆同ジヤウナ氣持デ其ノ邊ノ所ニ同情ヲ持チ、共ニ働イテ與レマスコトニナリマス、日本ノ貯蓄力ノ増加其ノ他カラ考ヘマシテモ、マア當分ノ間ハ、年二十億位ノ公債ハサウ消化ハムヅカシクナイト思フノデアリマス、是モ何時マデ續クカ、年々ソナ風ニ出シテ行クコトニナルト、直グニ二百億三百億ト云フコトニナル處ガナイカト云フコトニナリマスルノデアリマスルガ、是ハマア出來ルダケ歲出ノ膨脹ヲ喰ヒ止メルト云フコトモ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマスルガ、ソコデ國際情勢ヲ良クスルト云フコトガ根本デアリマスルガ、良クナリマスレバ今急イデ或程度ノ國防ノ充實ヲシナケレバナラスト云フモノ、多少ハ延ビマシテモ差支ナイコトニナラウト思ヒマス、サウシテ又同時ニ租稅ノ方ナドニ致シマシテモ、稅制ヲ變ヘマシタ所ガ、國民ニ是レ以上ノ負擔ヲ掛ケルト云フコトハ、是ハ政府當局者トシテハ避ケナケレバナラスモノグラウト思フノデアリマスルガ、併シ自然增收其ノ他儲ケガ多クナルニ從ッテ、斯ウ云フヤウナコトナドモ多少考ヘラレマスルト思ヒマスルシ、又經濟界ガ力

ガ付イテ來ルニ從ヒマシテ、赤字公債ノ消化ナドニモ、サウ苦勞ナシニ行ケルヤウニナツテ來マスト、日本トシテハ他ノ諸國ニ比較致シマシテ、マダ非常ナ公債ノ高ガ、國力ニ比例シテ非常ニ多イト云フ程度マデハ行ツテ居リマセヌノデスカラ、マア暫クノ間ハ消化ガ好ク行ク場合ニハ、此ノ程度ノ公債ヲ發行シテモ差支ナイト思ハレルノデアリマスル、其ノ間ニ國債ノ償還ニ付テ何カトカ、其ノ他ノ方法デモ講ジマシテ、公債ノ信用デモ高メルヤウナコトデモ致シマスコトニナリマスルト、一層其ノ邊ノ消化ガシ好クナツテ行クドラウト思ヒマス、先ノコトヲ考ヘマスト非常ニ斯ウ心配ニナルコトガ多イノデアリマスルガ、併シ多額ノ國庫金ガ市場ニ散布サレマス、ソレノ繰リ廻シト申シマスカ、運轉ノ工合ヤ何カガウマク行キマシテ、經濟界ヲ良ク育テテ行キマスコトニナルト、サウ大シタ悲觀ヲセズニ其ノ邊ノ調整ガ出來ルノデハナイカ、出來ルヤウニ一ツ努メテ行キタイ、マア斯シナ風ノ心持デアリマス

フ希望ナノデアリマス、ガ併シ今ノ儘デ前途ノ目標モ付カズニ、足ラナイ金ハ赤字公債デアアル、賄ツテ行クト云フコトデハ國民ガ前途ヲ心配シマスカラ、先ヅ今日ハ是レデアルガ、前途ハドウカナルト云フ光明ヲ持タセタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソコデ今大藏大臣ノ御説ヲ聞ケバ、公債ノ消化モサウムヅカシクハナカラウト、斯ウ云フ御意見ヲシウゴザイマセガ、ソレハヤリ方如何ニ依ツテハ相當ノ消化ハ出來ルデアラウト思フ、殊ニ今ノ經濟界ノ力ヲ養フト云フ方ニ心ヲ御用ヒニナリマシタナラバ、其ノ財源モ自ラ滑ラカニ出來ル譯デアリマスガ、但シ只今御話ニナツタヤウニ、外交ノ手腕デ以テ國際間ヲ平穩ニ導クコトガ出來レバ是ハ一番結構デス、ケレドモ之ニハ矢ッ張り「アームド・ピース」デ、相當ニ武力ガ尻押ヲシナケレバ到底外交上デ成功スルコトハムヅカシイドラウト思フ、サウスレバ軍備充實ノ費用ハ當分當局者モ國民モ我慢シナケレバナラナイト云フ時期デヤナイカト思ヒマスガ、其ノ邊ヲ一ツ今大藏大臣ガ心配下スツテ、斟酌按排シテ國民ニ餘リ痛手ヲ負ハサナイ、前途ノ收支ノ均衡モ附ケルノダト云フ希望ヲ持タシテ下スツタナラバ大變結構ナンデス

○委員長(侯爵小村捷治君) 大臣ガマダ御多忙ノヤウデゴザイマスカラ、若シ折角今御居デニナル所デゴザイマスカラ、若シ簡單ニ御質問ガアリマシタナラバ……

○男爵大森佳一君 私ハ法案ヲ今晚勉強シタイト思ヒマスガ、ソレデ今日ハ是デ御止メヲ願ツテ頂キタイト思ヒマス

○委員長(侯爵小村捷治君) 只今大森男爵ノ御意見ニ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(侯爵小村捷治君) ソレデハ本日ハ此ノ程度ニ於テ止メマシテ、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時二十二分散會
出席者左ノ如シ

委員長 侯爵小村 捷治君
副委員長 堀切善次郎君
委員 松浦鎮次郎君
子爵綾小路 護君
男爵今園 國貞君
男爵大森 佳一君
加藤政之助君
宇野 勇作君

國務大臣 大藏大臣兼拓務大臣 結城豊太郎君
政府委員 大藏省理財局長 關原 忠三君
大藏省銀行局長 和田 正彦君
大藏書記官 谷口 恒二君
同 木内 四郎君
文部書記官 服部 纘君

昭和十二年三月二十六日印刷

昭和十二年三月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局